

# 令和6年度（2024年度）特定事業者温室効果ガス排出量 報告の取りまとめについて

令和6年（2024年）11月12日  
経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課

北海道地球温暖化防止対策条例（通称：ゼロカーボン北海道推進条例）に基づき、事業者から今年度提出された削減等計画書及び令和5年度（2023年度）の実績報告書を、次のとおり取りまとめましたので公表します。

## 1 制度の概要

### （1）目的

道内における一定規模以上の温室効果ガス排出事業者（特定事業者）が、自らの排出量を認識することで、事業者の自主的な削減に向けた取組を促し、温室効果ガスの削減を図る。

### （2）計画及び報告

対象事業者は、3年を期間とする事業者温室効果ガス排出削減計画を提出するとともに、毎年度、前年度の温室効果ガス排出量等を報告し、道は、この削減計画と排出量報告をホームページ等で公表する。

### （3）対象事業者（特定事業者）

- ・エネルギー使用量の合計が原油換算1,500kL/年以上の事業者
- ・メタン等排出量合計が3,000t-CO<sub>2</sub>以上の事業者
- ・バス、トラック100台、又はタクシー150台以上の車両を有する自動車運送事業者

## 2 報告の内容

### ア 報告の状況

#### ○ 削減計画書等の提出状況

##### （1）削減計画書（計画期間は3年間）

|      | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 事業者数 | 83                | 118               | 194               | 162               | 142               |

##### （2）実績報告書

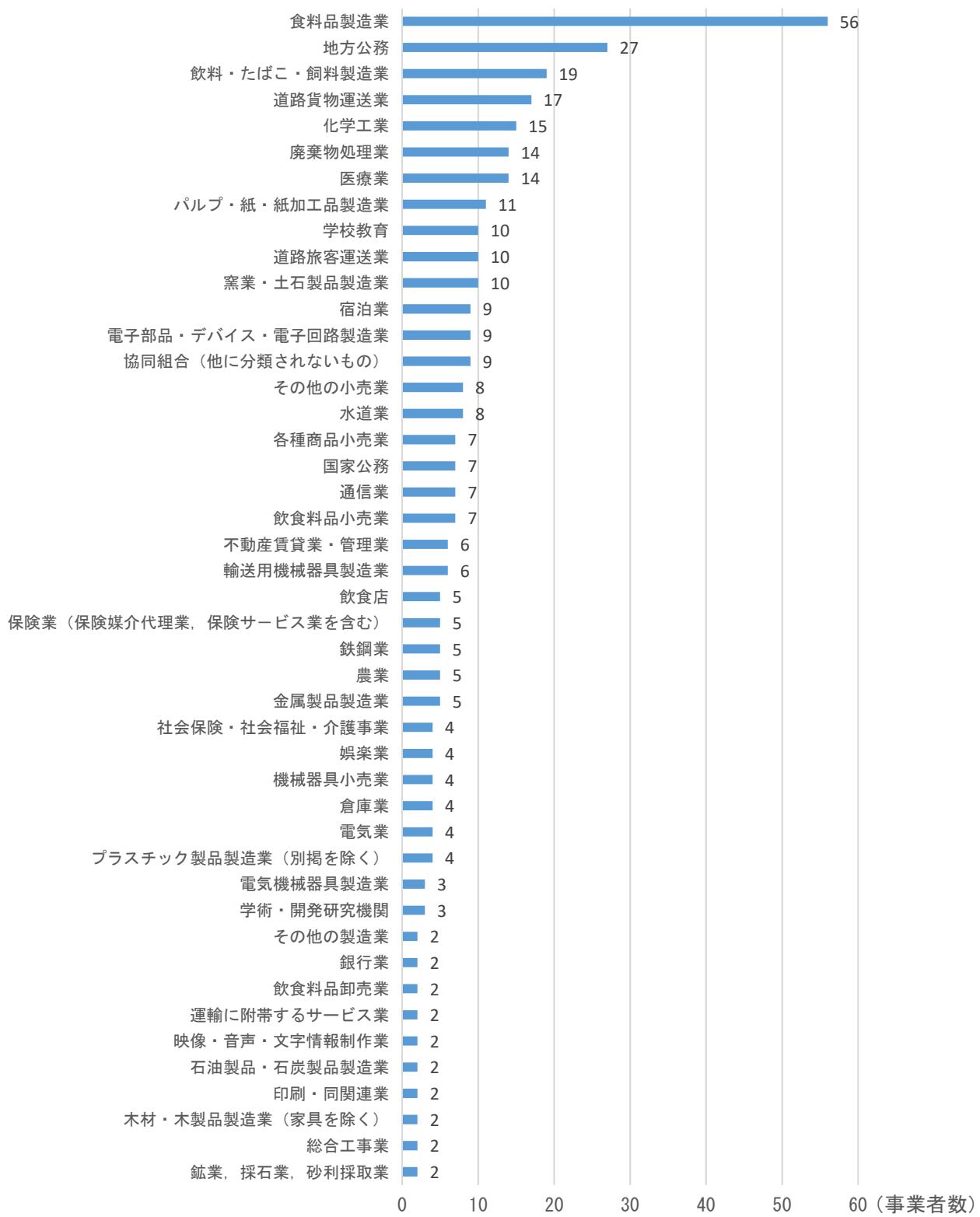
|  | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|--|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 事業者数                                   | 301               | 382               | 275               | 318               | 375               |
| 温室効果ガス<br>排出量<br>(万t-CO <sub>2</sub> ) | 1,759<br>(令和元年度)  | 1,961<br>(令和2年度)  | 1,971<br>(令和3年度)  | 1,808<br>(令和4年度)  | 1,802<br>(令和5年度)  |

## ○ 業種別実績報告の状況

- ・ 業種別の報告状況は、食料品製造業が最も多く56者、次いで地方公務が27者、飲料・たばこ・飼料製造業が19者の順となっています。

### 業種別報告状況

(業種)

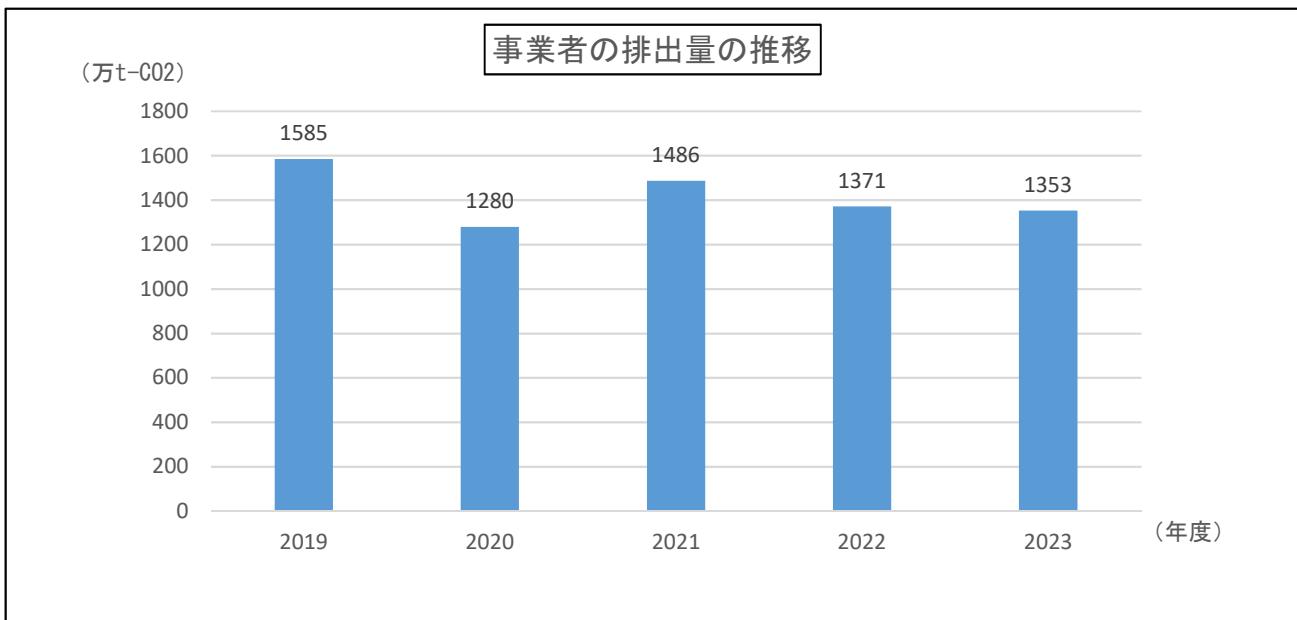


## イ 事業者の排出量等の状況

2019年度から継続的に報告があった216事業者を対象に取りまとめを行っています。

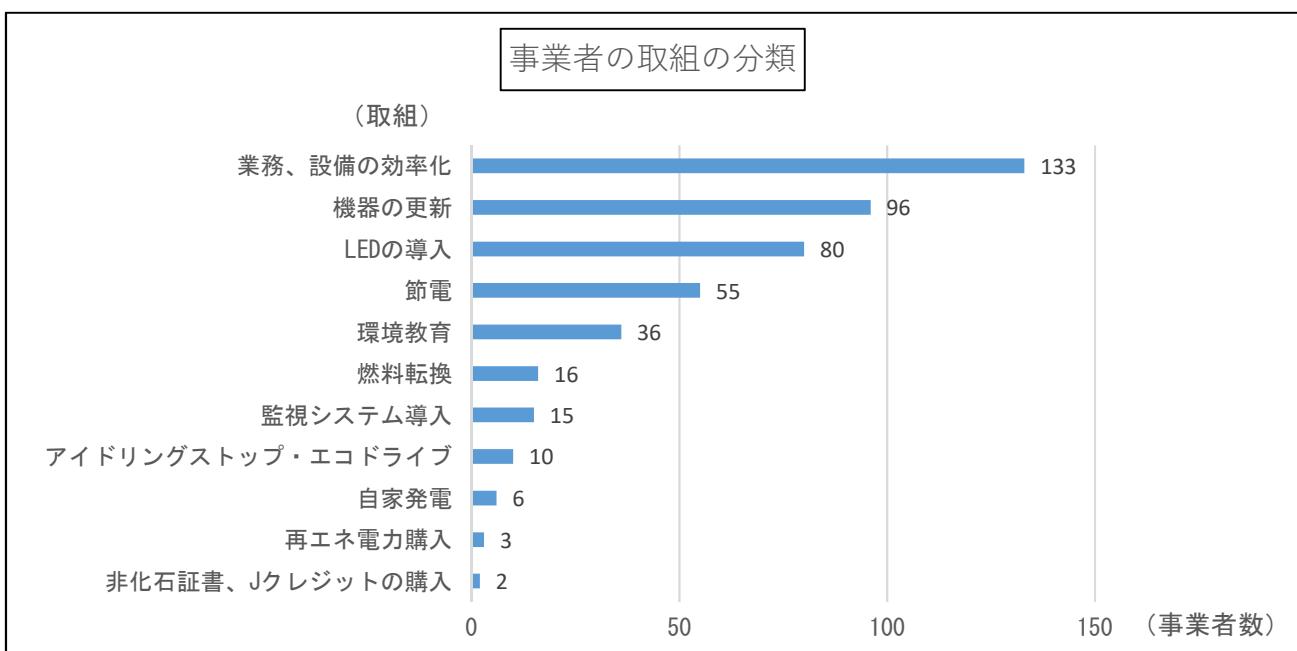
### ○ 事業者の排出量の推移

- ・ 2023年度の総排出量は1,353万t-CO<sub>2</sub>で、2019年度と比べ232万t-CO<sub>2</sub>減少しています。
- ・ 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により排出量が減少し、その後、経済活動の回復により排出量が増加したと考えられますが、2023年度は前年度と比べ18万t-CO<sub>2</sub>減少しています。



### ○ 事業者の取組の分類

- ・ 業務、設備の効率化に取り組む事業者が最も多く133者、次いで機器の更新が96者、LEDの導入が80者の順となっています。



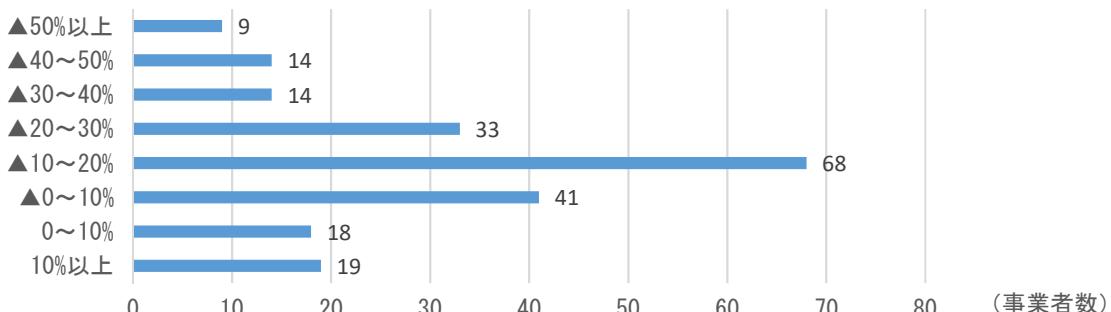
※各取組は重複分を含む

## ○ 事業者毎の排出量削減の分布

- 10~20%削減している事業者が最も多く68者、0~10%削減が41者となっており、30%以上削減している事業者は37者となっています。
- 約8割の179者が2019年度と比較して排出量を削減しています。

事業者毎の排出量削減の分布

(削減率)

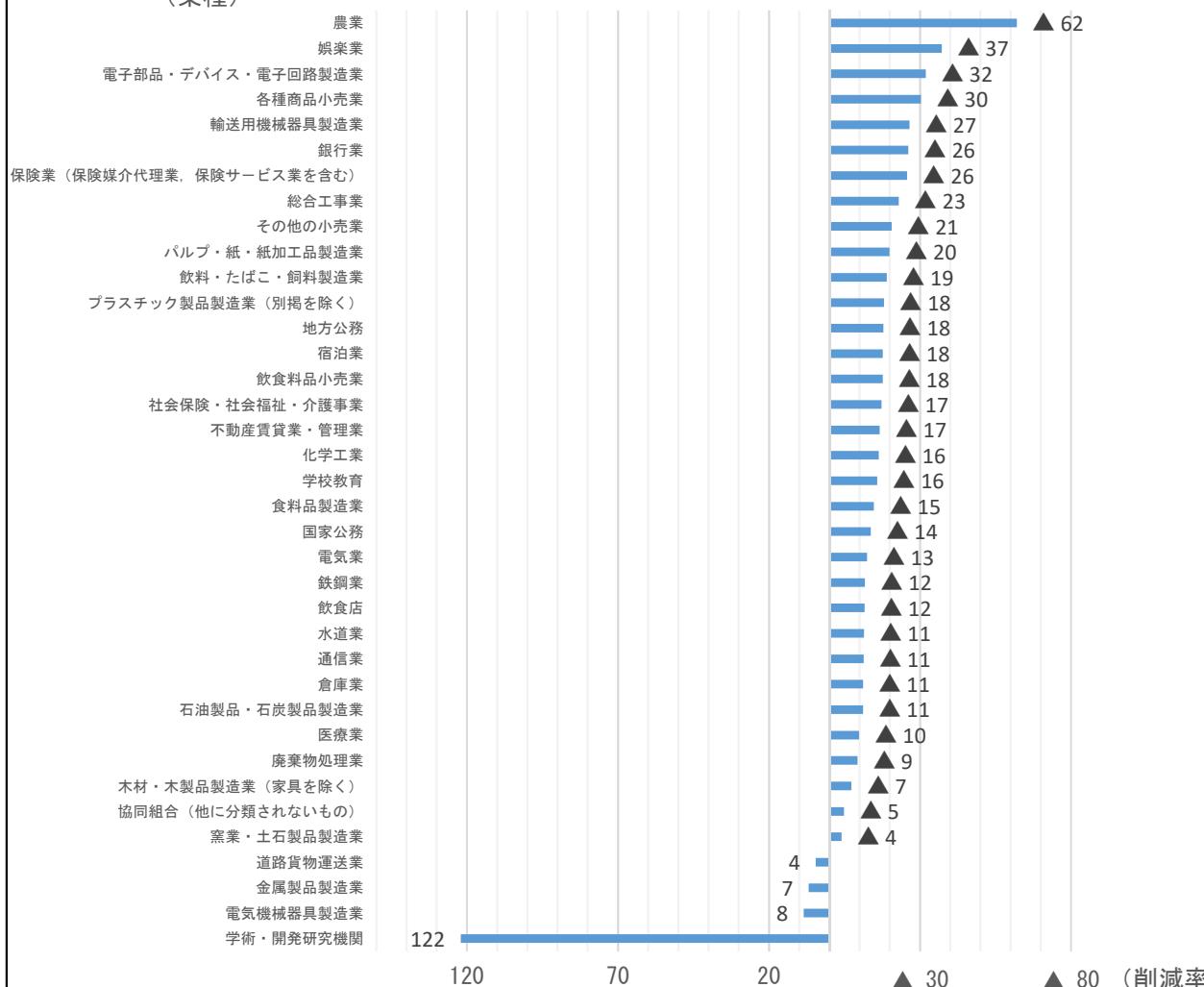


## ○ 業種別平均排出量の削減率

- 2019年度と比較して、削減率が高い業種は農業が約62%削減、次いで娯楽業が約37%削減、電子部品・デバイス・電子回路製造業が約32%の削減率となっています。

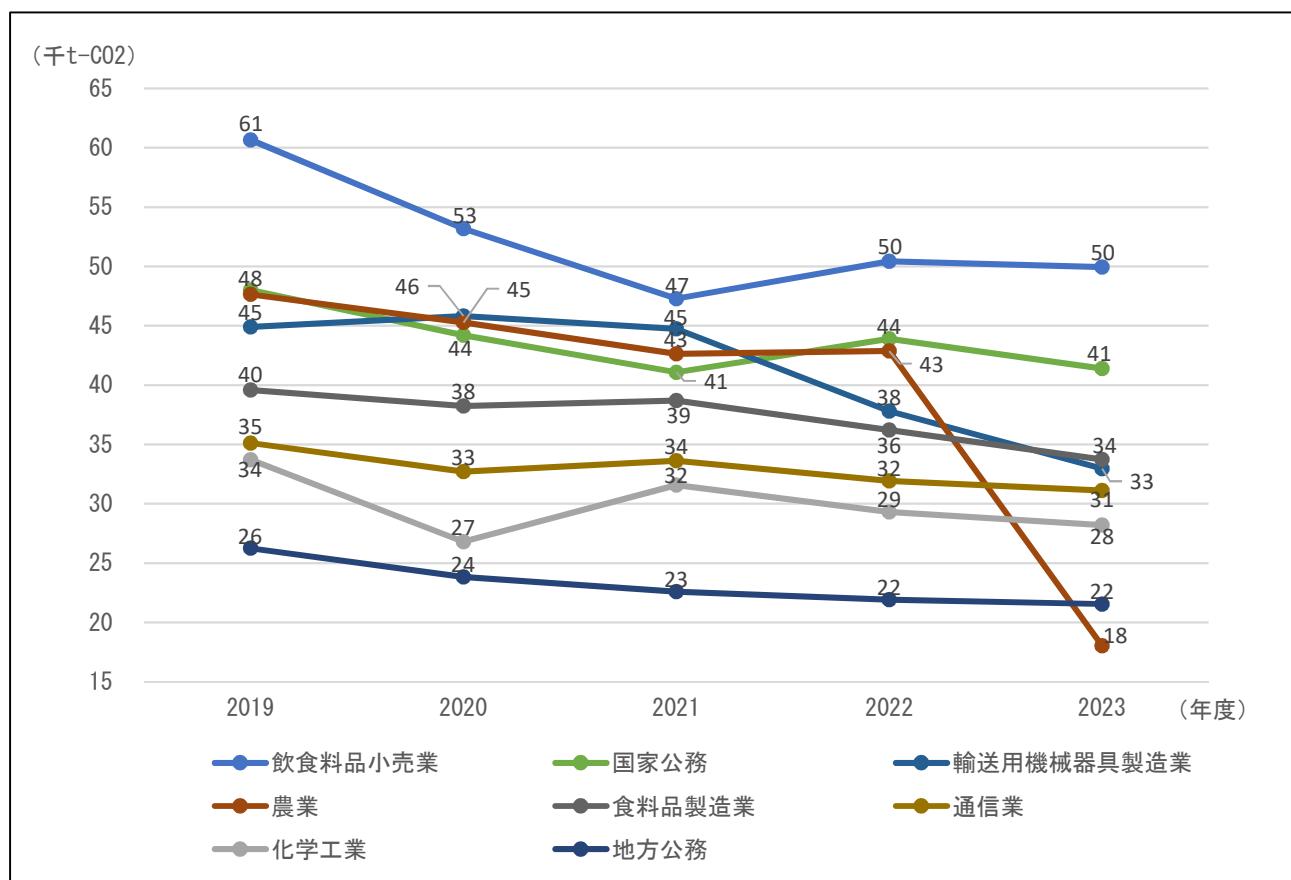
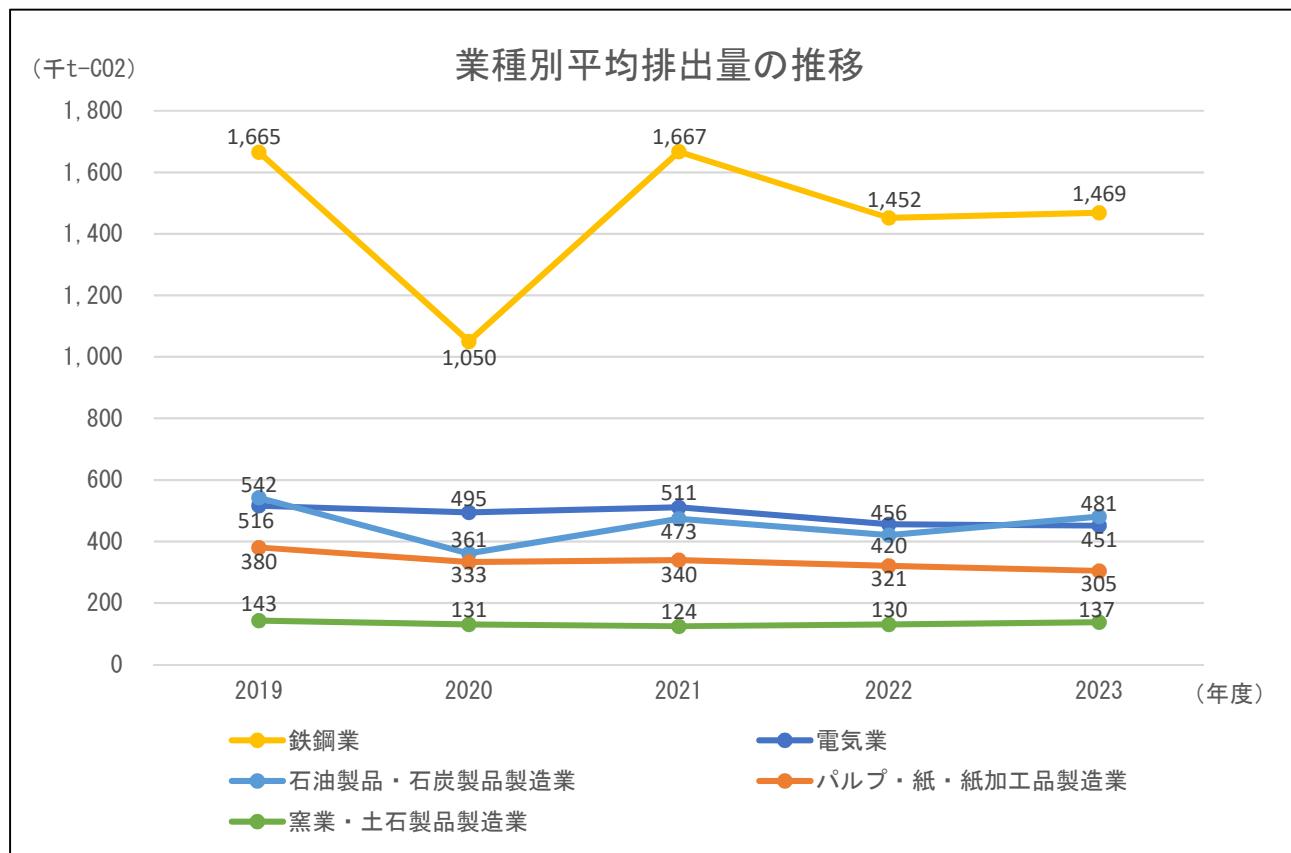
業種別平均排出量の削減率（2019年度との比較）

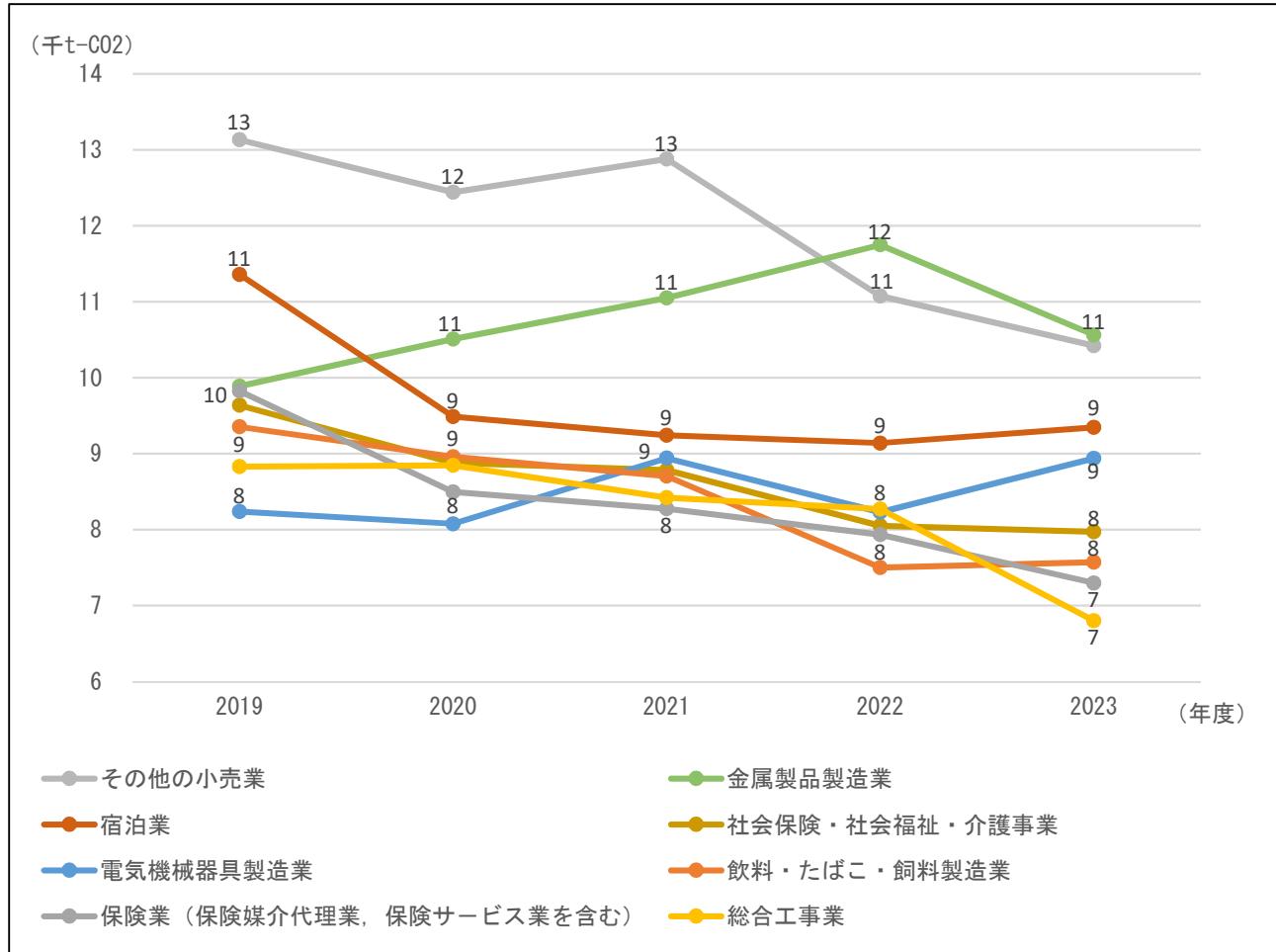
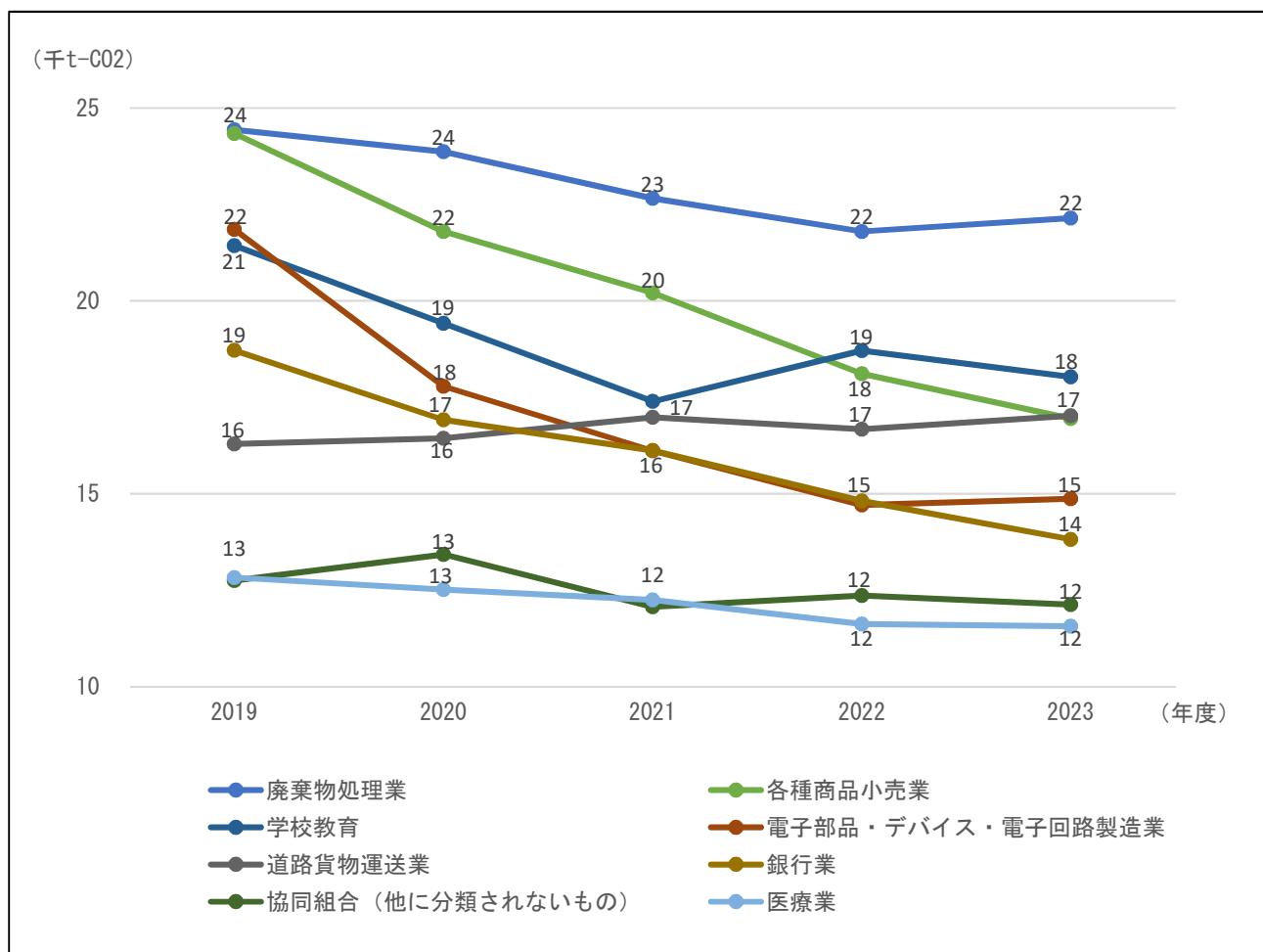
(業種)

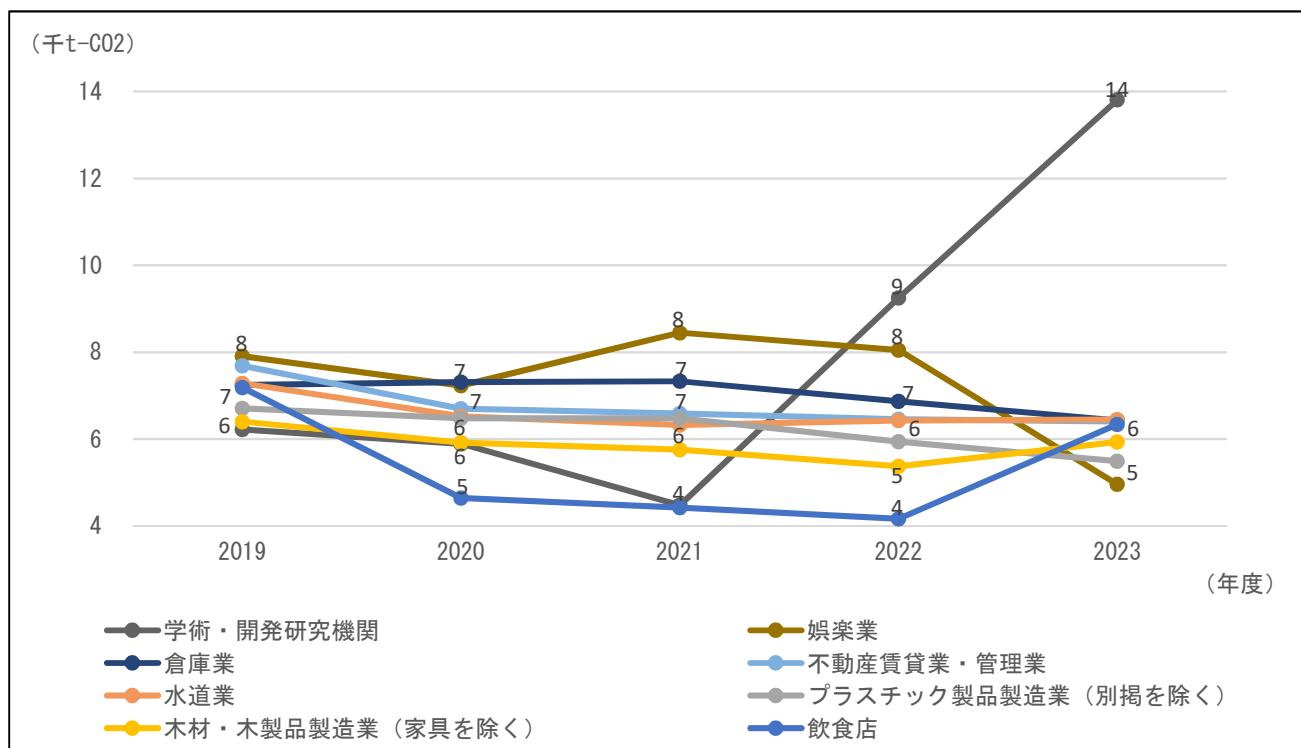


## ○ 業種別平均排出量の推移

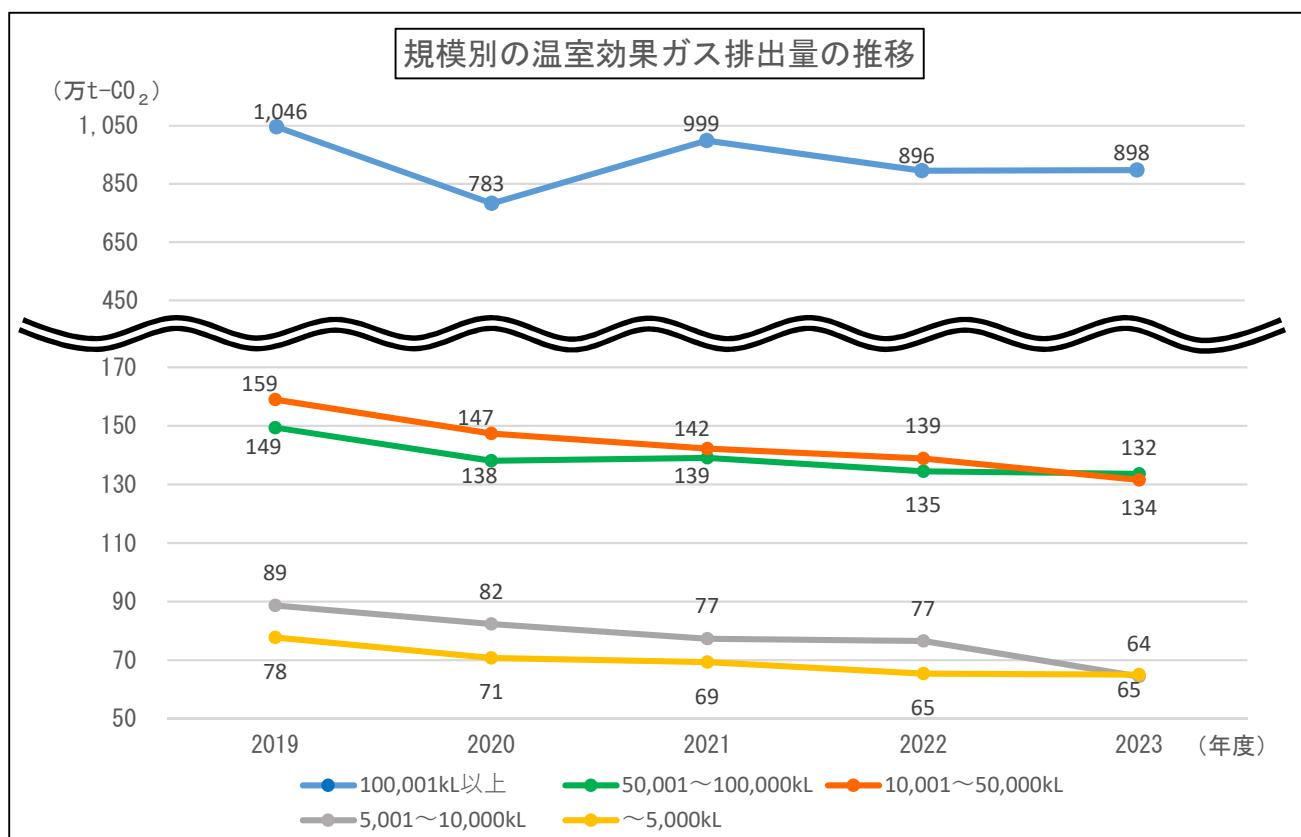
- ・ 平均排出量が多い業種は鉄鋼業、次いで電気業、石油製品・石炭製品製造業の順となっています。
- ・ 報告があった全51業種中45業種(約9割)が2019年度と比較して排出量が減少しています。







### ○ 規模別（原油換算エネルギー使用量）の温室効果ガス排出量の推移



### ○ 提出書類の内容公表

- 提出していただいた書類の内容については、データ活用の観点からオープンデータとして全事業者の内容を「(2020～2024年度報告)事業者温室効果ガス削減等計画書・実績報告書一覧」と事業者別に5年間の実績を一覧化した「(2019～2023年度実績)事業者別原油換算エネルギー使用量・温室効果ガス排出量一覧」を掲載しています。

【(2020～2024年度報告)事業者温室効果ガス削減等計画書・実績報告書一覧】

【(2019～2023年度実績)事業者別原油換算エネルギー使用量・温室効果ガス排出量一覧】

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcs/houkokumatome.html>